

県本部通信

Monthly
Zen-noh
Gunma

1

2025 January
No.272



This
month's
photo

JA全農ぐんま 花木流通センター
フラワーセンター 葉牡丹



©群馬県ぐんまちゃん



Contents

事業のうごき

新年のご挨拶

インフォメーション

農業チャレンジャー

JAピックアップ!

アートクッキング

花木流通センター便り



JA全農ぐんま
公式Instagram
情報発信中!
ぜひご覧ください



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋** になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。



JA全農ぐんま

<https://www.zennoh.or.jp/gm/>



事業のうごき

畜産農産部

▶酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進

▶米麦特産課

- 令和6年産大豆集荷推進
- 令和6年産民間流通麦引取推進
- 令和7年産民間流通麦契約面積播種推進
- こんにゃく荒粉・精粉入札販売の実施

園芸部

▶園芸販売課

- 共計ハウレンソウ販売 (周年)
- 共計チングンサイ販売 (周年)
- 共計味ニラ販売 (周年)
- 共計下仁田ネギ販売 (1月末日迄)
- 共計上州ネギ販売 (2月末日迄)
- 共計春菊販売 (2月末日迄)
- 共計土ネギ販売 (3月中旬迄)

▶園芸総合対策課

- J A野菜振興計画の目標達成に向けた取組支援
- 農産物の安全・安心確保対策
- GAP取組支援
- 園芸事業基盤再構築に向けた取組

▶園芸資材課

- 春用出荷資材予約推進
(段ボール・バック・フィルム・果実用資材他)
- 低コスト段ボール
(A Kライナー・ショートフラップ化) 推進
- 来年度産青果物段ボール予約推進
- 温床資材予約推進
(農ビ・トンネル資材・こんにゃくマルチ他)

- 春まき用野菜種子推進
(ほうれん草・枝豆・とうもろこし他)
- 種馬鈴薯納品

生産資材部

▶肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 水稻農薬当用推進
- 園芸肥料農薬推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- バンカーシート推進

▶担い手推進課

- 大規模・系統未低利用生産者への推進支援
- J Aの出向く体制強化支援

▶施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

生活燃料部

▶生活課

- 蓄電池推進 (周年)
- シロアリ防除事業推進 (周年)
- J Aタウン取扱品目拡大
- 仕込み味噌推進 (10月～1月)
- ペット火葬推進 (周年)
- 墓石事業取扱拡大推進 (周年)

▶石油課

- 冬のわくわくキャンペーン (1月14日～2月)

▶ガス課

- ガス・でんき新規獲得推進 (4月～3月)
- 給湯器燃料転換推進 (4月～3月)
- J Aでんき農畜産物プレゼントキャンペーン
(7月～2月)

新年のご挨拶

新年のお慶びを 申し上げます



令和7年の新春を迎え、皆様のご健勝をお祈りいたしますとともに、全農群馬県本部を代表いたしまして年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は、1月1日に発生した能登半島沖地震をはじめ、豪雨や台風被害など日本各地で災害が発生し、甚大な被害に見舞われました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

また、昨年は農政の憲法ともいわれる、食料・農業・農村基本法が平成11年の制定以来、およそ四半世紀ぶりに改正され、日本農業が大きく転換する年となりました。

新しい令和7年は、平穏で災害のない、明るく実りの多い一年となることを願っております。

本県の農業を取り巻く状況は、生産資材価格の高止まり、輸送コストの増大、気候変動等による自然災害の多発化・激甚化、食料自給率の低迷と農業者の減少など、様々な課題に直面しております。

また、世界情勢の緊迫や世界の人口増加による需給の逼迫など、多くの食料を輸入に頼っている我が国では、食を取り巻くリスクが一段と高まっています。

こうした中、昨年11月に第43回J A群馬県大会を開催し、「持続可能な農業・地域共生社会の実現」のため、5つの戦略の実践について決議しました。私たちJ Aグループの原点は、組合員、生産者、利用者のために働くことです。この原点を胸に、令和7年も組合員・生産者や地域住民の皆様、各関係者との連携のもと、協同活動と総合事業で食と農を支え、豊かなくらしと活力ある地域社会の実現に努めて参ります。皆様には農畜産業に対するご理解とご協力を賜りますよう、本年もよろしくお願い申し上げます。



全国農業協同組合連合会 群馬県本部
運営委員会会長 林 康 夫

上毛新聞広告賞「企画賞」を受賞



10月31日（木）、上毛新聞広告賞表彰式が行われ、企画賞を受賞した園芸販売課の広告が表彰されました。広告は、昨年9月に掲載されたもので、青果物の適正価格への理解促進を図る内容となっています。表彰式に出席した宮内副本部長は、表彰状を受け取り「農業を取り巻く現状の理解醸成を消費者へ訴えることで、改めて消費者として何ができるかを考える機会になれば」と広告に込めた思いを話しました。



▲受賞した広告

群馬クレインサンダーズに協賛 県産の「きのこにら」をPR



11月2日（土）、オープンハウスアリーナ太田で、群馬県きのこ振興協議会と群馬県にら組合の協賛による群馬クレインサンダーズの冠スポンサー試合が開催されました。会場では、県産のきのこにらの消費拡大を目的として中華スーパの配布や、アンケートに回答した来場者を対象とした県産きのこ詰め合わせセット等のプレゼントが行われました。県産きのこ振興協議会の大澤会長と県にら組合の小池組合長は、試合前のあいさつで、県産農産物のさらなる消費を呼びかけました。



▲県産きのこ振興協議会とにら組合の出展ブース

JAでんき新規申し込み キャンペーン抽選会



昨年7月より、新規でJAでんきにお申込みいただいた方を対象として行われている「JAでんき新規申し込みキャンペーン」の当選者が決定しました。キャンペーンは、JAでんきの普及拡大を目的として来年2月末まで実施されます。第1回目の今回は7月から10月にご成約いただいた方を対象として、24人の当選者に上州牛が贈られました。

インフルエンザワクチン集団接種



11月6日（水）および11日（月）の2日間、総務人事課は群馬中央病院の協力のもと、希望職員を対象としたインフルエンザワクチンの集団予防接種を実施しました。集団予防接種は職員の健康増進を図り例年実施されており、今年は80人の職員が接種を受けました。

園芸販売課
フォロワー
2万人達成!

11月上旬、園芸販売課の運用する「X」アカウントがフォロワー2万人を達成しました！
県内農畜産物情報やキャンペーン・イベント関連情報を発信中！



上津セルフ給油所 リニューアル記念式典



11月8日（金）、上津セルフ給油所のリニューアル記念式典が執り行われ、JA利根沼田役職員や施工関係者ら26人が参加しました。同給油所は、配送ローリーの積込施設を新設し、配送センターをかねる給油施設へと建て替えられました。JA利根沼田の田村組合長は、「安心してご利用いただける給油施設を目指し、今まで以上に品質の良いサービス提供を行って参りたい」と期待を込めてあいさつされました。

コンプライアンス推進 全体職員研修会



11月19日（火）、コンプライアンス推進課は、JAビルで「令和6年度第2回コンプライアンス推進全体職員研修会」を開催しました。研修会では、桑田理事長によるメッセージ動画の視聴や本部長による講話、厚生労働省の配信するハラスメント防止動画の視聴が行われました。本部長は「すべての従業員が全農グループの一員であることを自覚した上で、役職員行動規範に則り、リスク事案発生防止に向けて取り組んでほしい」と呼びかけました。

「手作りこんにゃくの精粉」 紹介動画を制作



12月18日（水）、米麦特産課と群馬県蒟蒻生産協会は、こんにゃくの消費拡大を呼びかけるため、JAタウンで販売中の「手作りこんにゃくの精粉」を使用したこんにゃく作りの工程を紹介する動画を公開しました。動画では、商品について寄せられた声を踏まえ、こんにゃくの精粉を混ぜ合わせる際に目安となる形状や各工程のポイントなどを、映像を通して効果的に紹介しています。動画は当県本部のYouTubeやInstagram、ホームページなどで公開しています。



上州黒毛和牛A5を使ったすき焼きセットです！付け合わせの野菜もネギやこんにゃく、シイタケ等どれも群馬県の特産品を使用しています！セット内容は以下のとおりです！ぜひ一度、ご賞味ください！！

<セット内容>

- ・上州和牛・春菊・ネギ・こんにゃく
- ・シイタケ・えのき・牛や清特製たれ
- ・調理例封入

※商品到着後はお早めにお召し上がりください。



おいしい日本と暮らそう
JAタウン
www.ja-town.com



アクセスはこちら！

<https://www.ja-town.com/shop/c/c3201>

農業チャレンジャー

農 チャレ

JA佐波伊勢崎管内村田至男さん 有機肥料取り入れ農薬減へ 土づくりに注力

JA佐波伊勢崎



1

Profile

村田 至男 (むらた・ゆきお) さん

1980年生まれ44歳

品目：ブロッコリー 30a
白菜 20a
ナス 13a
キュウリ 13a

趣味：野球・バイク



3

2

1 村田さん
2 霜害防止のための白菜の結束作業の様子
3 栽培中の白菜

— 今回の農業チャレンジャーは、JA佐波伊勢崎管内でブロッコリーや白菜を生産する村田さんです。

— 就農時期は？
8年前、36歳のときに就農しました。

— 就農のきっかけは？
実家が兼業農家で、定年後に本格的に農業を営んでいた父が体調を崩してしまったため、勤めていた会社を退職し就農しました。

— 就農されていかがでしたか？
就農して2年間は、父の見習いとして農業の基礎を習得しました。独立後は従業員1人を雇い、オクラやナスなど様々な作物の栽培を経験しました。もともと農業には興味があり、いずれやってみたいと思っていたので、自分で工夫を施しながら進められる農業が楽しかったです。

— 工夫していることは？
米ぬかや納豆菌を取り入れることで、農薬の使用量を減らしても病害虫が発生しにくく、栄養豊富な土壌をつくることに力を入れています。

— 心掛けていることは？
会社員時代には食品会社に勤めていたこともあり、作物の品質にはこだわりをもっています。JAで開催している圃場視察などに積

極的に参加し、先輩農家さんの指導を受けたり、近隣の生産者との情報交換を欠かさないようにしています。

— どんな時にやりがいを感じますか？
直売所へ出荷すると消費者の声を直に聞くことができるので、自分の作った野菜が「美味しかった」と言ってもらえるとやはり嬉しいです。お客さんとのコミュニケーションがやりがいになっています。

— 今後の展望をお聞かせください。
5年単位で見据えて、新たなことを取り入れていきたいと思っています。次の目標は、さらに多種の野菜栽培に挑戦することです。いずれは主体となって、収穫体験の実施や観光農園の実現を目指していきたいと考えています。

— 先を見据えて着実に歩みを進める村田さん、今後さらなる活躍が期待されます。



JAピックアップ!

～JAの活動をご紹介します～

JA碓氷安中



出荷会議の様様

は生育が良くない状況となっておりますが、上州ねぎは比較的順調となっております。

現状、11月末においても高値で単価が推移しており、当管内では関西出荷を中心に県内でも流通出来る様出荷もしています。市場からの注文も多く来ていますので1ケースでも多くの出荷をお待ちしています。

下仁田ネギ・上州ねぎ 出荷会議

JA碓氷安中ねぎ部会は、下仁田ネギ・上州ねぎ出荷会議を10月7日(月)、8日(火)の2日間行いました。7日は西部支所2階会議室で15名の出席があり、8日はJA碓氷安中本所3階大ホールで行われ45名の生産者が参加しました。

下仁田ネギの出荷は10月27日(日)から取扱いを開始し、年明け1月30日(木)まで行われる予定です。また、上州ねぎは11月13日から出荷開始し2月末までを予定しています。同会議では販売状況について全農ぐんま榎田紀之担当より、今後の栽培管理についてはJA碓氷安中営農課小野哲義担当から説明がありました。

今年は、8月、9月の長雨等により病気も多発し、下仁田ネギ

稲刈り後もカメムシ対策呼びかけ 「来年はこないで」

JA邑楽館林では、今年も大量発生したイネカメムシの対策として、11月頃に稲刈り後の耕うんと除草を呼びかけました。越冬する習性があるイネカメムシの住処を無くすことが目的で、JA管内の米生産者は来年産の作付けに向けて準備を進めました。

今年は昨年に続き異常高温となり、JA管内で広くイネカメムシの発生が確認されました。本田の薬剤防除で被害が抑えられた地域もありましたが、一部では吸汁害による不稔や斑点米が発生し、収量や品質の低下が見られました。来年以降の発生も懸念されるため、JAでは今できる対策を周知しました。

JAの調査によると、収穫後の水田内のひこばえは越冬前の中継地になることが分かり、越冬に向けイネカメムシが養分を蓄える前に住処を無くすことが効果的です。さらに稲株の早期すき込みは、藁の腐熟促進や雑草の種と塊茎を露出させて乾燥・死滅できるなど、メリットがたくさんあります。

明和町の米生産者は「今年もイネカメムシに苦労した。稲の生育によって移動するので、一カ所防除しただけではダメだと感じた」と話し「今から対策をするので来年はこないでほしい」と願いました。

JA営農企画課の伊藤恵一さんは「米の品質は生産者の所得につながる。高品質な米の生産ができるようサポートしたい」と話しました。

JA邑楽館林

生産者にカメムシ対策を
呼びかける伊藤さん



みどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は
変更になることがあります。

GTV 3ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時 間
新春対談／JA群馬中央会	1月6日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※1月12日(日)	AM 8:00～ 8:30
農業の未来を担うトップランナー JA青年部／JA北群渋川	1月13日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※1月19日(日)	AM 8:00～ 8:30
イチゴ、ホウレンソウ(案)／JA太田市	1月20日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※1月26日(日)	AM 8:00～ 8:30
ブロッコリー、アレッタ(案)／JA佐波伊勢崎	1月27日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※2月2日(日)	AM 8:00～ 8:30



中村 柚貴子アナ

りんごの豚バラ肉巻き



Food adviser **石垣 恵美**

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

材 料

2人分

(1人分428kcal)

りんご…………… 1個 酒…………… 大さじ1
豚バラ肉………… 120g ブルーベリージャム
サラダ油………… 小さじ2 …………… 小さじ1
醤油…………… 大さじ1 クミンシード… 小さじ1
みりん…………… 大さじ1 コショウ………… 適量
砂糖…………… 小さじ2

作り方

- 1りんごの皮をむき、芯を取ったら12等分に切る。
- 2豚バラ肉を10～15cm幅に切り、コショウをふる。
- 31のりんごに2の豚バラ肉を巻く。
- 4フライパンに油を入れ熱し、3のりんごを並べて弱火から中火で両面を軽く焼く。
- 54に調味料をからめ、火を止める寸前でクミンシードを振り入れる。
- 65を器に盛り、ローズマリーを添える。

花木流通センター便り



Xで
情報発信中!
ぜひ
ご覧ください



住 所 前橋市亀里町1307-1
TEL 027-220-2427
FAX 027-220-2424

	営 業 時 間	定 休 日
花 木 流 通 セ ン タ ー	4・5月: 9:00~17:00 6~3月: 9:00~16:00	4月・5月: 無休営業 6月~3月: 毎週火曜日定休
み の り 館	4~3月: 9:00~17:00	年末年始を除いて 無休営業
様名十文字 う どん	4~3月: 11:00~14:30	

今が申込みのチャンス!!

JAでんき

2024年 7月1日 2025年 2月28日

新規申し込みキャンペーン

JAでんきを新規お申し込み頂いた方に /

群馬県食肉市場が厳選した上州牛が **10人に1人** で **当たる!!**

下記 **A** または **B** から1点をお選び下さい。

2024年11月と2025年3月に抽選(2回)となります。※詳細は下記に貼付。

A 群馬県産 上州牛サーロインステーキ2枚 (220g×2枚) **冷凍**

B 群馬県産 上州牛肩ロース (650g) **冷凍**

※各賞の抽選は100%当選イメージで、抽選、抽籤、抽籤は抽籤に当たります。

さらに!! **JAでんきは お得 がいっぱい!**

01 JAでんきに切替えると年間の電気料金が **お得になります!!**

02 新規お申し込みされた方には **最大3,000円** のお祝い金をお贈りします。

03 100円未満の電気料金を支払ったお客様は **基本料金を毎月220円** (税込) でお支払いいただけます。

■お問い合わせは最寄りのJAでんき代理店へ

新規申し込みキャンペーン抽選について

2024年11月の抽選会(1回目)は7月~10月までにご契約の方が対象となります。

2025年3月の抽選会(2回目)は11月~2月までにご契約の方が対象となります。

※JAでんきの小売電気事業者は全農エネジー株式会社です(登録番号A0310)

ZEG 全農エネジー株式会社 **全国農業協同組合連合会**

【県本部通信】における個人情報の取扱いについて

【県本部通信】に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

〈あて先〉〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番 JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp